

10 日間のホームステイ

久保木 萌

今回のホームステイ体験は毎日緊張していましたがとてもよい体験ができました。ホストファミリーは私にとっても優しくしてくださり、市立の方とも仲良くなれました。いつもと違う環境で過ごすことができた 10 日間を私は一生忘れません。

私はホームステイに行くことが決まってから不安と楽しみという気持ちがありました。私は人と話すことに苦手意識をもっていたので、自分から話題をふって会話を続けることができるのか。英語で自分の伝えたいことを言えるのか…。その反面、向こうの人達はどんな生活を送っているのか。ホームステイしたら自分の自慢になるかな。ホストファミリーと仲良くなれるかな。という期待も大きくありました。そんな気持ちをもちながら出発しました。飛行機内では隣の席に座っていたアメリカ人のお兄さんが話しかけてきたり、食事を頼む時伝えるのに時間がかかったりして行く前から少し疲れてしまいましたが、無事、カラマズー市に到着しました。カラマズー市の方々がとても温かく迎えてくれましたが、私がお世話になるデニスさんはまだ来ていなかったため会ったのは最後でした。少し寂しくなりましたが、会った時ホストファミリーが日本語で「めぐみちゃん」と言ってハグしてくれたのでとても温かい気持ちになりました。そのまま一緒に帰宅しましたが、向かっている途中で、日本と違って山がなくて空が広いこと、信号が少ないことや道路は右側ということに驚きました。デニスさんの家は想像していたよりも広くていいなあと憧れてしまいました。さらにプールもあり、犬もいて羨ましかったです。

次の日の朝食は、行く前気になっていましたがパンやベーコンといったもので、アメリカの朝食はもっとあっさりしていると聞いていたので、普通で少し驚きました。

初日のプログラムは映画とワニでした。古い歴史を持つミシガンシアターの裏側を見ることができ、初めて英語でハリーポッターを見ることができました。ワニ園ではいろいろな大きさのワニを見たり、小さいサイズのワニと蛇を初めてもつことができ、あまりの可愛さに家で飼ってもいいなと思ってしまうほどでした。帰宅してからは、アルバムを見せたり、少しだけピアノを弾いたらとても喜んでくれて嬉しくなりました。トニーとアミールがケータイの日本語機能を使ってくれたので二人の会話を理解して一緒に会話に参加でき、盛り上がって楽しい時間を過ごすことができました。ホストマザーが作った夕飯のチキン料理がとてもおいしかったです。

2 日目は美術館でプレスレットと自分のものでポスターカードを作ることができ良い記念品ができました。美容専門学校ではネイルを初めてしてもらえてとてもうれしかったです。そしてその日は COWBOY UP で食事をしました。そこのお肉がおいしく、おかわりもしました。その後はホストファミリーや市立の子と一緒にダンスをして楽しくおどることができました。アメリカ人のダンスはキレがあって日本人とは全然違うなあと感心してしまいました。ダンスはアメリカの人にとっての文化なんだと改めて知ることができました。

3日目はホストファザーとの朝の会話からでした。この日までの2日間、集合場所まで送ってかれているホストファザーと話すことができませんでした。これではまずいと思い、カラマズー市についての質問をしました。ホストファザーは私にもわかりやすく丁寧に教えてくれました。もっと話せるように頑張ろうと意欲がわきました。この日は最も楽しみにしていた一つのカヌー体験でした。みんなで声を出しながら合わせて漕ぐのは難しく、思っていたよりも力が必要で大変でした。でも森の中を進んでいくと風が涼しくてとても気持ちよかったです。

そして一番不安に感じていたホストファミリーとの土日を迎えました。土曜日は午前中までゆっくりと寝させてもらいました。午後は、夕方のパーティに参加するための準備をしました。アミールが化粧をしてくれて、その後モデルになって写真を撮たくさん撮ってくれました。少し恥ずかしかったけれど、かわいいと言ってくれて嬉しかったです。パーティはいろいろな人がきていました。ホストファミリーが私を紹介してくれたので少しだけ会話をするのができ、やっと落ち着いて会話できるようになったかなとホッとしました。

日曜日は朝からみんなで教会に出かけました。初めて入る教会はイメージしていたものとは違って、体育館のようでした。最初はよくわからないまま授業を受けました。その間アミールが私に何のことについて先生が話しているのか教えてくれたのでなんとなくですが理解して、無事に授業を終えることができました。午後はデニスさん一家全員で子供たちの先生になり、子供と植物を観察したり、石に色塗りをしていました。一つしか歳が変わらないアミールのしっかり子供を指導している姿は、いきいきしていて楽しそうでした。帰宅してからは、WIIで対決し、晩餐会の時間ぎりぎりまで盛り上がったことは忘れません。不安だった土日はいろいろなことを体験させてもらえて素敵な思い出になりました。月曜日の午後のプログラムは、自由時間があり何人かの人と街を探索しました。小さいお店をいくつもみたり、道に大きいチェスがあってみんなで遊んだりしてゆっくりいろいろなものを見ることができました。ゆったりとした時間がその街に流れていて、「おしゃれ」という言葉がぴったりだなと感じました。

火曜日はもう一つの楽しみだったバギー体験でした。前日にアミールにどんな乗り物か聞いていたので楽しみは倍増していました。バギーはスピードが速く、森や砂漠のような道をみんなで盛り上がりながら進んだので終わるのはあっという間でした。日本にもありませんが、あんなに広大な土地ではなかなかできないと思うので、体験できてよかったです。そして、ホストファミリーとお別れの水曜日になりました。長かったような短かったような10日間が終わりホッとしましたが、ホストファミリーとお別れをするのは寂しくて、最後の別れのときは我慢できず泣いてしまいました。

今回のホームステイは、私に良い刺激を与えてくれました。日本の文化を伝えてこれなかったこと、もっと積極的に話せたのではないかなというような後悔がいくつもありますが、それ以上にたくさんの楽しかった思い出が記憶に残っています。この体験をいつか活かしていけるように過ごしていきたいです。